

アートをつばさ9 —兵庫・京都・滋賀の美術館—

4月25日付けドリーム第332号以来の「アートをつばさシリーズ」です。

7月末に、関西の美術館に行きました。マニアックな美術館を3つを紹介します。

まず、**横尾忠則現代美術館**（兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30）です。私は、グラフィックデザイナー横尾忠則（よこおただのり）以上に、画家横尾忠則がお気に入りです。横尾氏は、1936年生まれの**82歳**、下の写真の大きな肖像画は、何と2018年の作。筆のタッチが、晩年の**セザンヌ**と似ていました。勢いがある素晴らしい作品でした。**モネ**も**ルノワール**もそうですが、画家は、最後の最後まで作品を世に残すことが出来るのです。そして、晩年の作品が素晴らしいと思います。最近、現代美術も理解出来るようになりました。ここまで来るのに10年かかりました。**前澤友作ZOZOTOWN社長**が、現代美術を大金を出して購入する気持ちは、ある程度理解出来ます。アートは、**右脳**を開花させ、**先鋭的なアイデア**が生まれる源になると思うからです。

次に、**アサヒビール大山崎山荘美術館**（京都府大山崎町銭原5-3）です。2年前からどうしても行きたかった美術館です。それは**モネ**を8点も所有しているからです。今回は、その内2点が展示されていました。一番観たかった大きな「**睡蓮**」（1914-17 2m×2m）と会えました。モネが展示されている地下展示室は、日本を代表する建築家、**安藤忠雄**氏の設計でした。

最後に、**佐川美術館**（滋賀県守山市水保町北川2891）です。1998年に**佐川急便**が創設した美術館です。建物といい**平山郁夫**コレクションといい、**半端ない**美術館でした。見学した時は、特別展「**田中一村（たなか いっそん）展**」の開催中でした。私が田中一村を鑑賞している時、NHKEテレの日曜美術館で、田中一村を特集していたことをあとで知りました。何という偶然でしょう。近年の私の旅は、「**美術館巡りの旅**」になっています(^_^)！

